

2025年9月期 第2四半期 決算補足説明資料

ティアンドエスグループ株式会社

(東証グロース 4055)

2025.5.14



T&S
Technology & Service

(今期のテーマ) 何かが始まる

1 過去最高収益を継続。(過去同四半期比) 前2Q比大幅アップ

売上高	:	20億 16百万円	(13.9%増↑	増加額: 245百万円)	(前年同四半期比) ※
営業利益	:	3億 69百万円	(17.7%増↑	増加額: 55百万円)	(同)
経常利益	:	3億 71百万円	(18.1%増↑	増加額: 56百万円)	(同)
四半期純利益	:	2億 42百万円	(11.1%増↑	増加額: 24百万円)	(同)

※ 決算期変更により前年2Qは12月から5月までの実績となっております。

2 AIソリューションが好調を持続。半導体カテゴリーも復調

- AIソリューションカテゴリーの売上高は236百万円となり、前年同期比66.3%の大幅増。AIや高性能コンピューティング需要の高まりから当社への引合いが大幅に増加した。
- 半導体ソリューションカテゴリーの売上高は前年同期比15.9%増の605百万円と復調。半導体メーカーの業績回復に伴い、システム開発案件が増加した。
- DXソリューションカテゴリーの売上高は前年同期比6.2%増の1,174百万円と堅調。基盤分野であるカテゴリーとして安定的な成長を継続した。

3 エクステージ(株)の連結開始。各子会社では新規開拓の動きも

- 当2Qより、子会社エクステージ(株)の連結を開始。半導体関連の開発体制を強化。
- 各子会社では、新規取引先の開拓を強化。複数社との取引がスタート。
- 子会社イントフォー(株)はAIソリューションビジネスの拡大を目指し(株)カイと業務提携。

決算概要

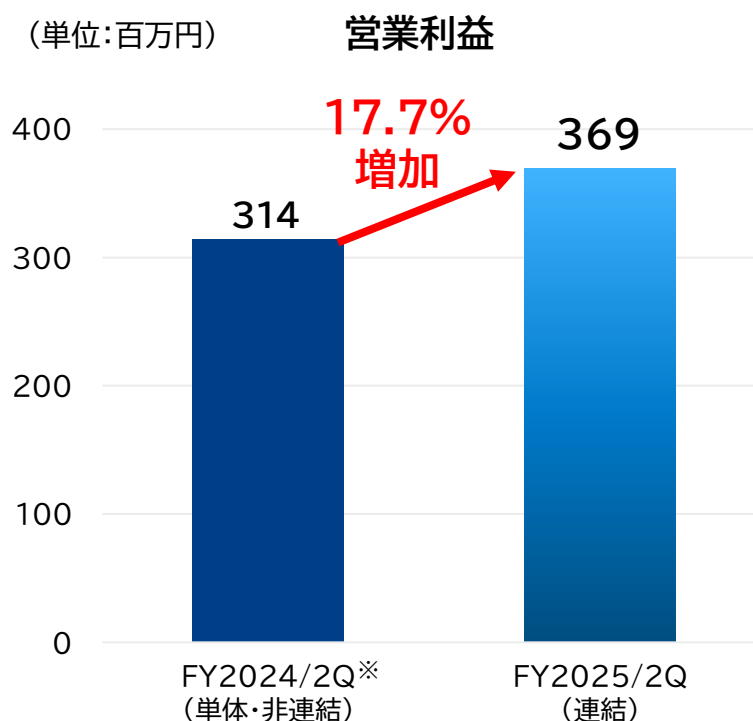
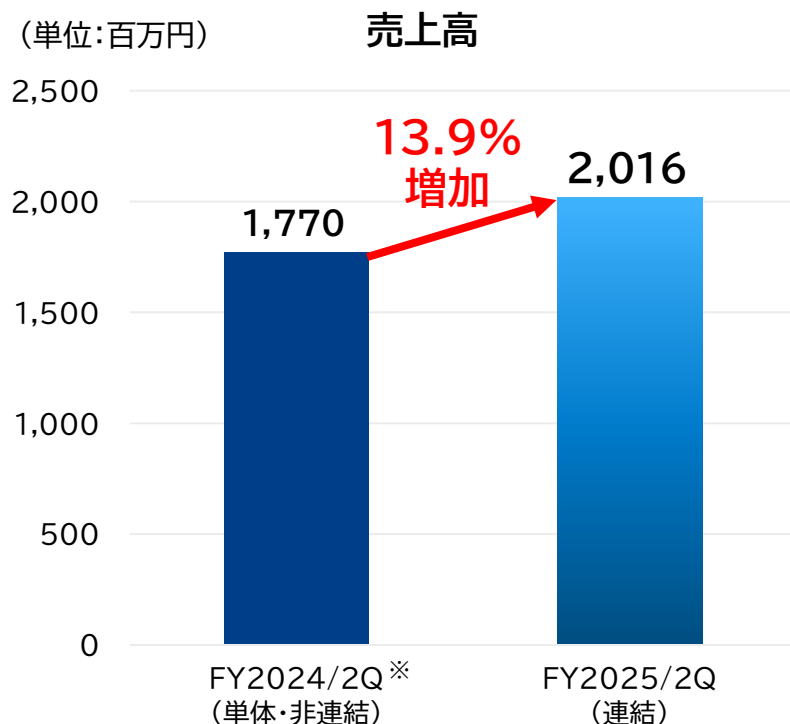
2025年9月期 第2四半期

決算概要(FY2025/2Q)

過去最高収益を継続

(過去同四半期比)

売上高	:	20億 16百万円	(13.9%増↑	増加額: 245百万円)	(前年同四半期比) ※
営業利益	:	3億 69百万円	(17.7%増↑	増加額: 55百万円)	(同)
経常利益	:	3億 71百万円	(18.1%増↑	増加額: 56百万円)	(同)
四半期純利益	:	2億 42百万円	(11.1%増↑	増加額: 24百万円)	(同)

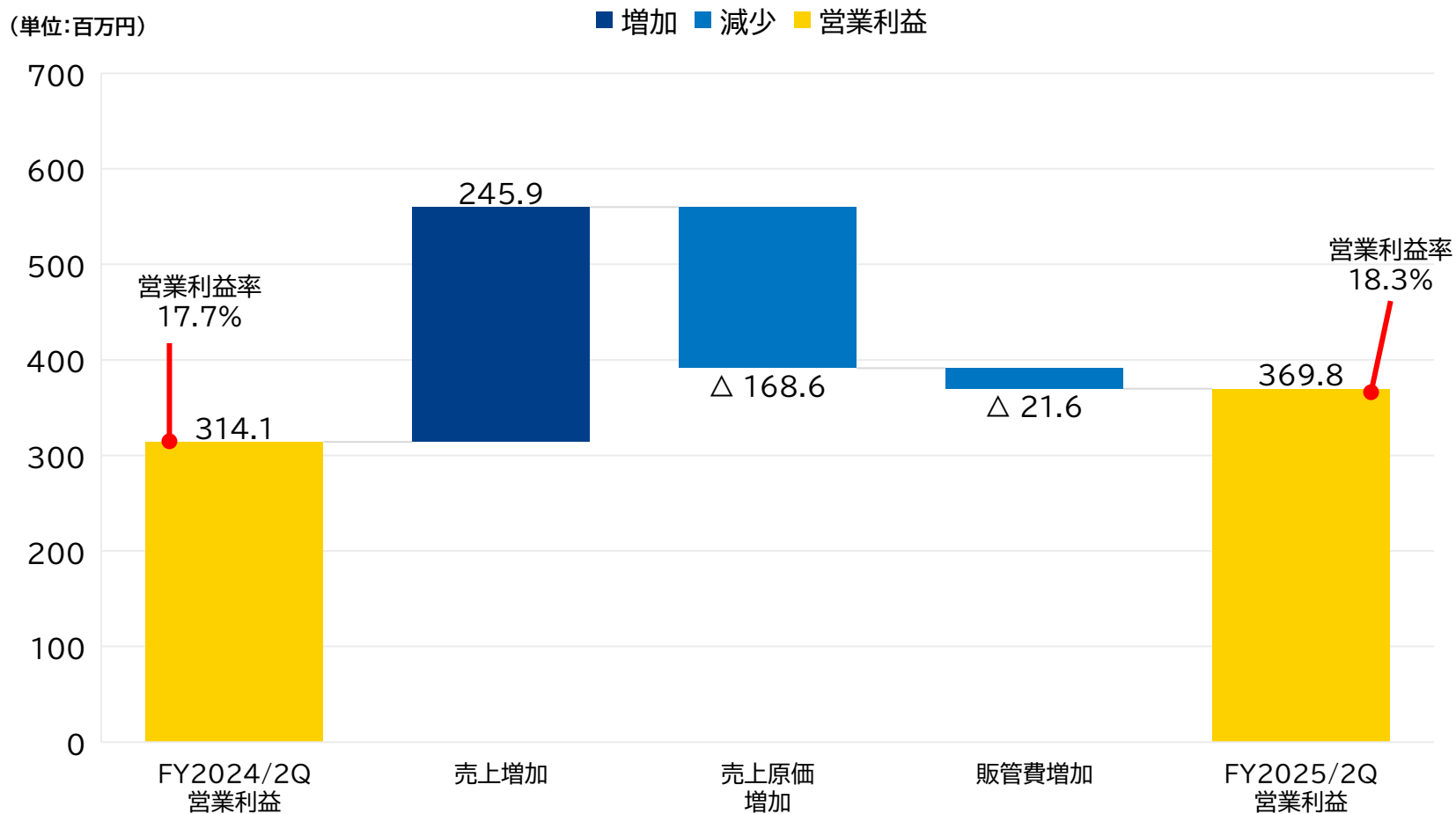


※ 決算期変更によりFY2024/2Qは12月から5月までの実績となっております。

営業利益の状況(FY2025/2Q)

HD化による業績向上効果が販管費増を上回り、
55百万円の営業利益増。

(前年同四半期比)



カテゴリー別売上高(FY2025/2Q)

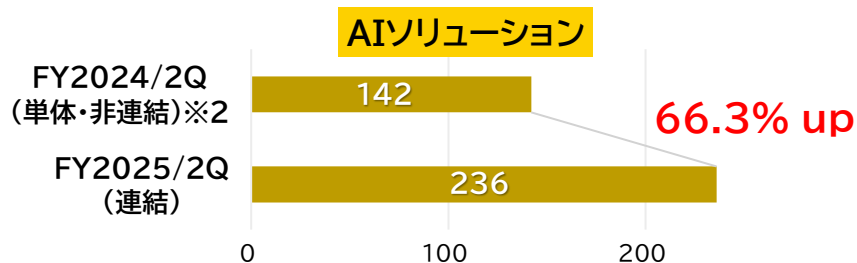
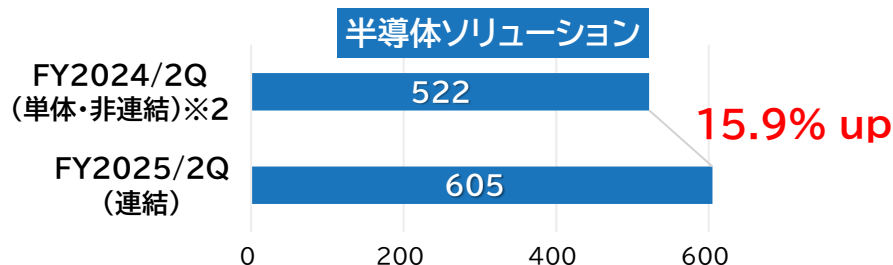
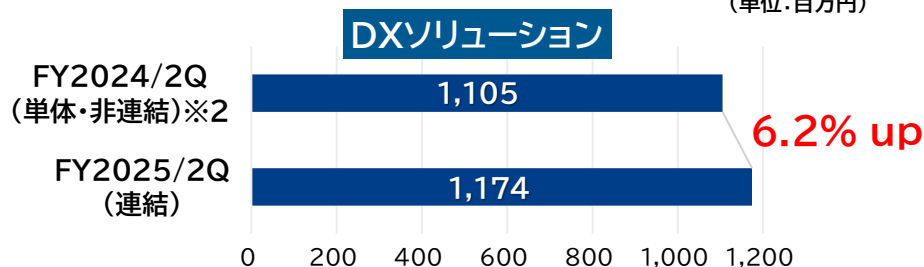
AIソリューションの売上高は**66.3%**の大幅増
(前年同四半期比)

半導体ソリューションは**15.9%**と急回復
(前年同四半期比)

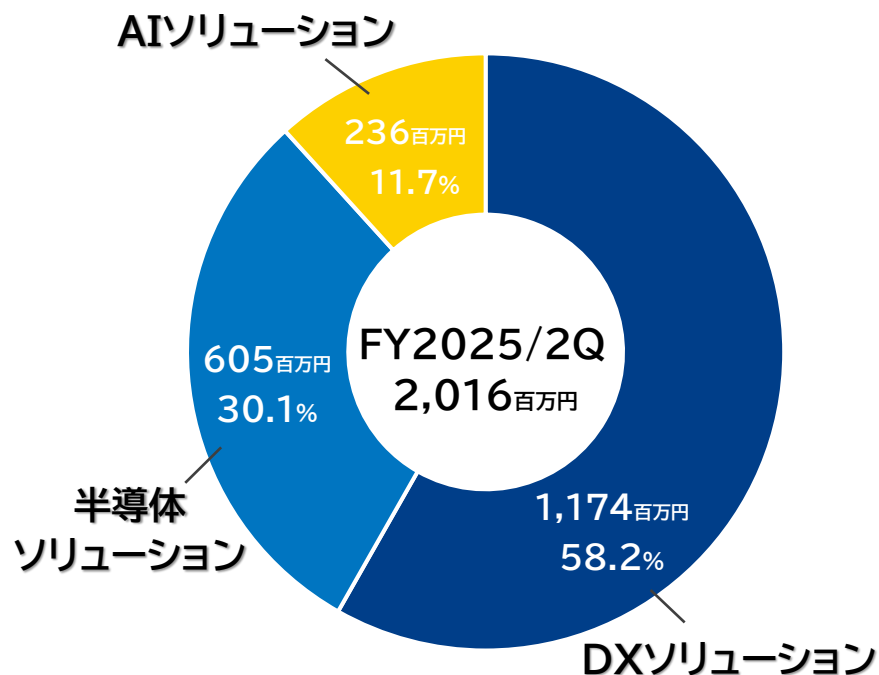
DXソリューションの売上高は**6.2%**と安定成長
(前年同四半期比)

売上高(カテゴリー別) ※1

(単位:百万円)



売上比率(カテゴリー別) ※1



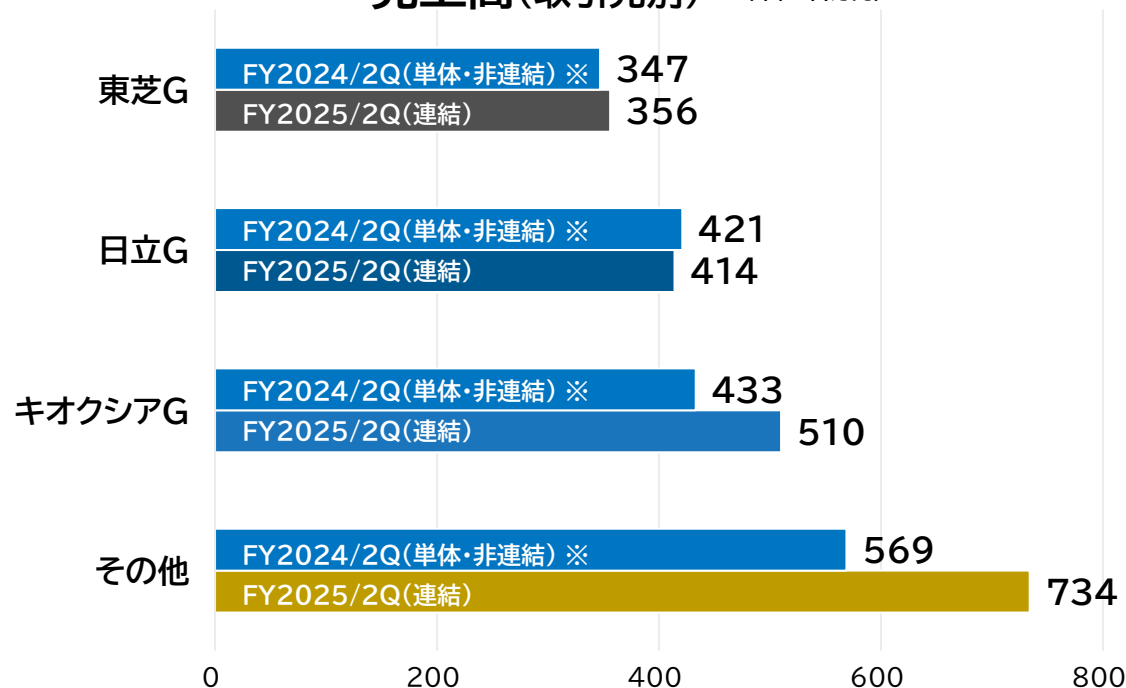
※1 当社グループの事業セグメントは単一セグメントです。
売上高のみカテゴリー別に集計しております。

※2 2024年9月期 第3四半期より連結決算に移行しております。
2024年9月期 第2四半期は非連結の実績を記載しております。

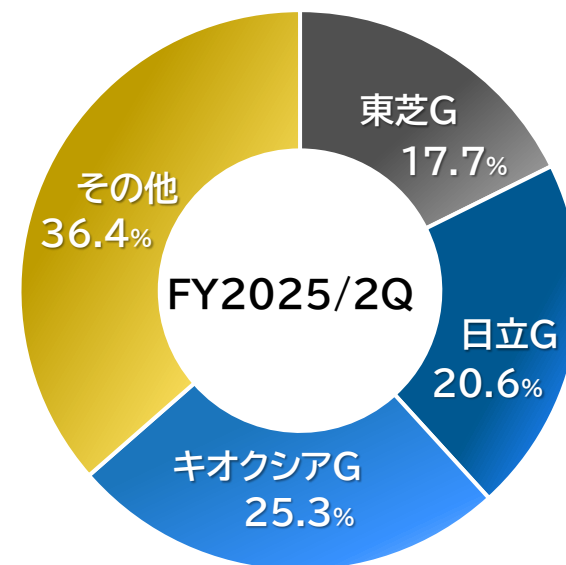
取引先別売上高(FY2025/2Q)

キオクシアGが急回復
東芝G、日立Gは安定して推移
その他取引先が大幅伸長

売上高(取引先別) (単位:百万円)



売上比率(取引先別)



※ 2024年9月期 第3四半期より連結決算に移行しております。
2024年9月期 第2四半期は非連結の実績を記載しております。

業績予想進捗率

2025年9月期 2Q現在

(テーマ) 何かが始まる

単位:百万円	2024年9月期 通期(連結・実績)	2025年9月期 通期(連結・予想)	2025年9月期 第2四半期(連結・実績)	進捗率(%)
売上高	2,980	4,000	2,016	50.4%
営業利益	519	750	369	49.3%
経常利益	520	750	371	49.5%
純利益	321	492	242	49.3%

T&Sグループ
全体

子会社各社の営業努力により取引先の増加やエンジニアリソースの拡充が進み、当社グループ全体の業績は順調に推移する見通しです。分社化による各社の特徴を活かし、各社事業の拡大を推進します。当社グループの事業に関して、現時点で米国政権が発表した相互関税措置による直接的な影響はありません。

T&S システム開発
事業本部

半導体メーカーをはじめとする主要取引先からの継続案件及び新規案件の引合いは引き続き好調を維持し、業績は堅調に推移する見通しです。システム開発からシステム運用保守業務へ移行する割合が高く、長期にわたる受注体制は今後も維持継続が期待できます。主要取引先からの大規模開発案件を受注する見通しであり、業績への寄与を見込んでいます。

T&S ITサービス
事業本部

主要取引先からの引合いは引き続き増加傾向であり、業績は堅調に推移する見通しです。
当社の主要取引先である半導体メーカーでは、国内での安定供給体制の整備を目的に、最先端の半導体を開発・製造するための施設の増設、生産拠点の拡張が予定されており、半導体工場向けのITサービスは安定的に稼働する見込みです。年間10%増の採用計画に従い新卒採用、中途採用を進め、人材の適正配置により売上、事業拡大を見込みます。

イントフォー

引き続き生成AIサービスやエッジAIソリューションの引合いは好調で、下期も既存顧客・新規顧客ともに案件の受注拡大の見通しです。4月から新会社として経営体制を強化し、外部企業とのビジネス連携を進めながら、成長加速を狙います。

TSシステム
ソリューションズ

既存顧客との取引が増加し、顧客エンゲージメントが強化されています。また、新規顧客の開拓も順調に進んでおり、業績は堅調に推移する見通しです。DXを中心にさらなる成長を目指します。

エクステージ

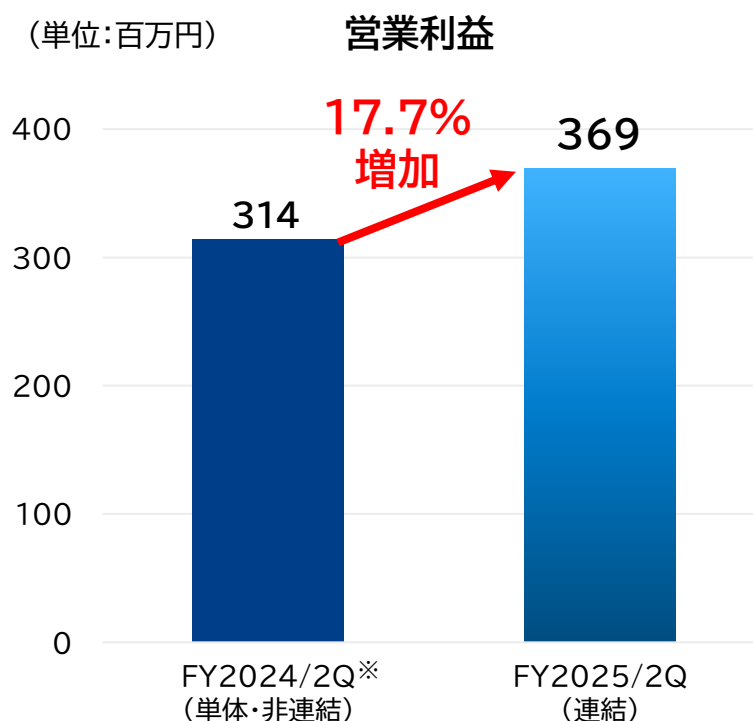
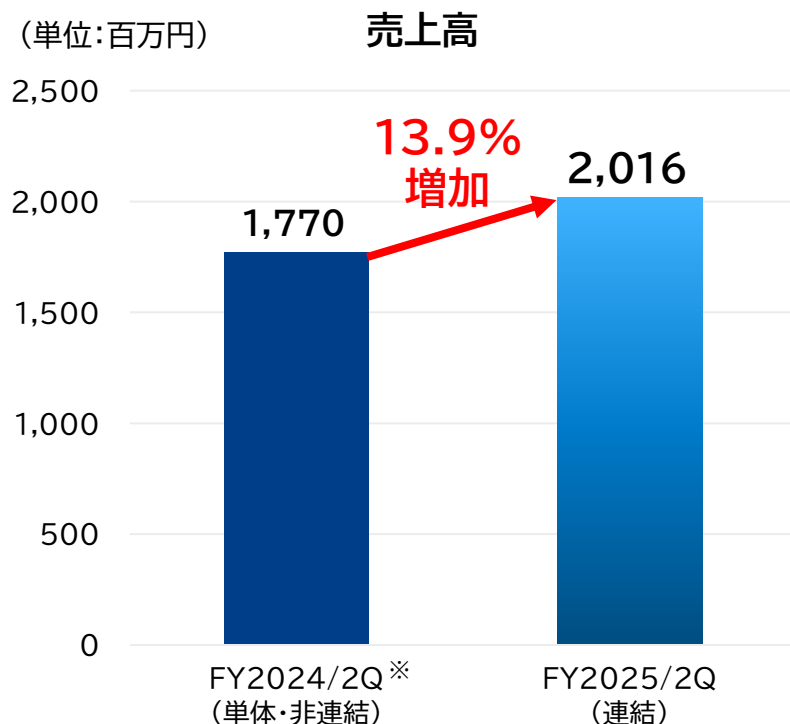
2025年1月にT&Sグループ傘下となり、第2四半期より連結対象子会社となりました。半導体関連のソフトウェア開発分野でのグループ内連携強化やコラボレーションによる新規取引先の開拓を推進し業績への貢献を目指します。

当社業績並びに今後の戦略について

過去最高収益を継続

(過去同四半期比)

売上高	:	20億 16百万円	(13.9%増↑	増加額: 245百万円)	(前年同四半期比) ※
営業利益	:	3億 69百万円	(17.7%増↑	増加額: 55百万円)	(同)
経常利益	:	3億 71百万円	(18.1%増↑	増加額: 56百万円)	(同)
四半期純利益	:	2億 42百万円	(11.1%増↑	増加額: 24百万円)	(同)

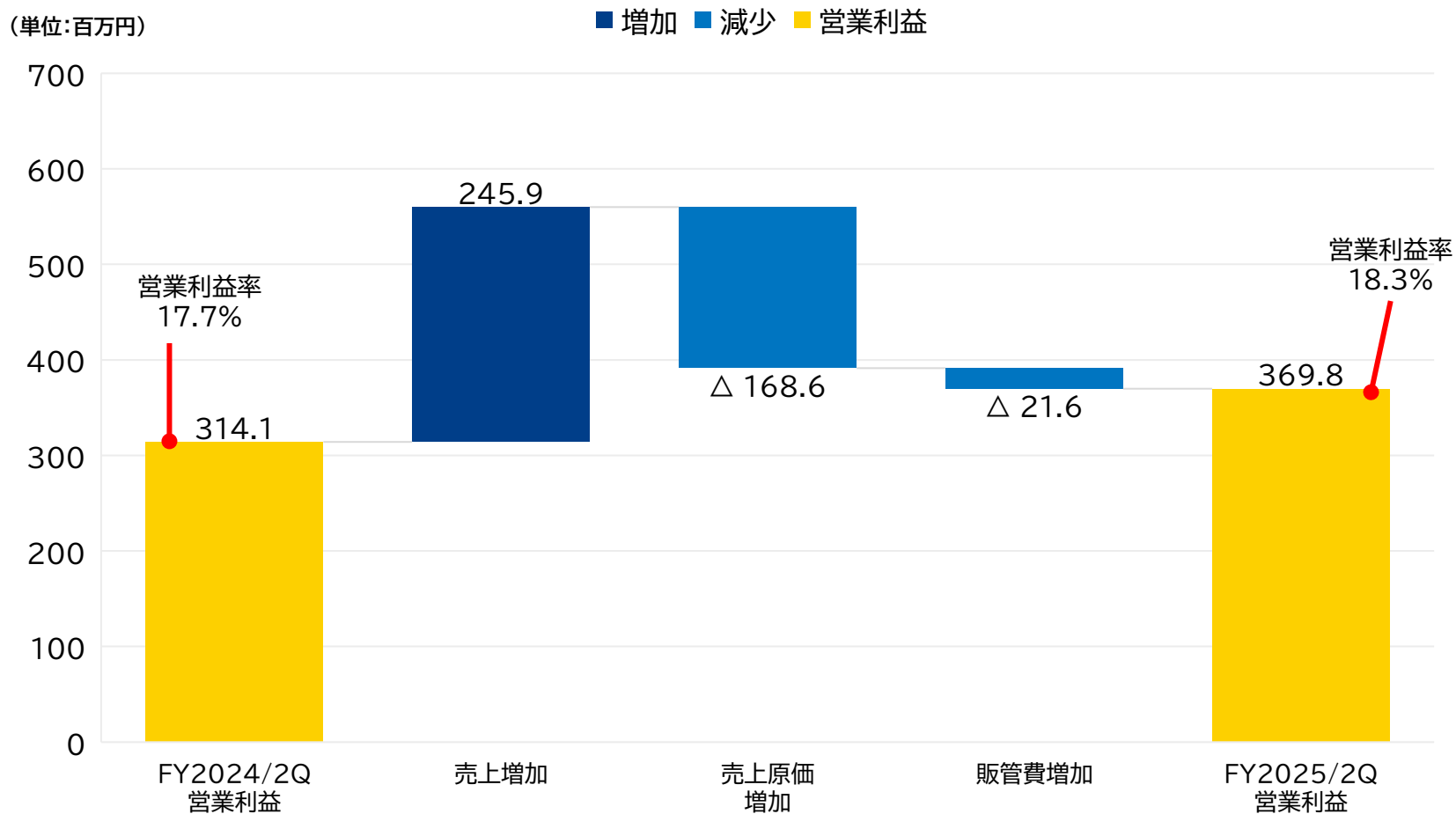


※ 決算期変更によりFY2024/2Qは12月から5月までの実績となっております。

営業利益の状況(FY2025/2Q)

HD化による業績向上効果が販管費増を上回り、
55百万円の営業利益増。

(前年同四半期比)



カテゴリー別売上高(FY2025/2Q)

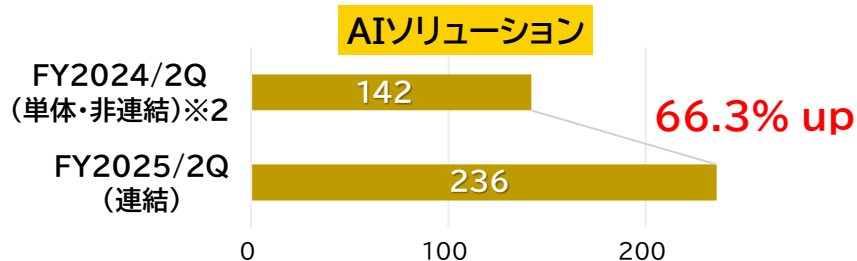
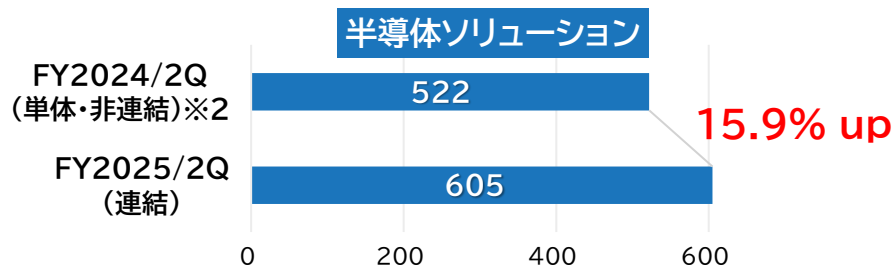
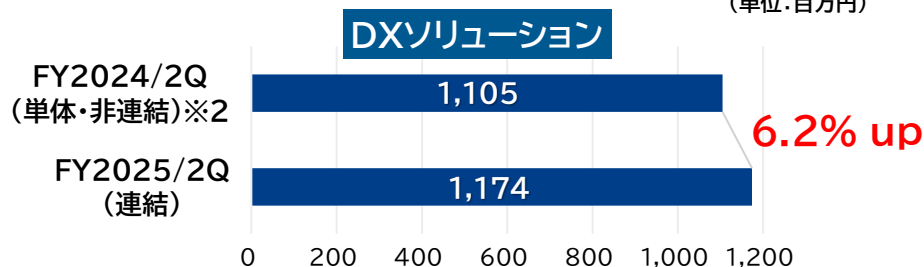
AIソリューションの売上高は**66.3%**の大幅増
(前年同四半期比)

半導体ソリューションは**15.9%**と急回復
(前年同四半期比)

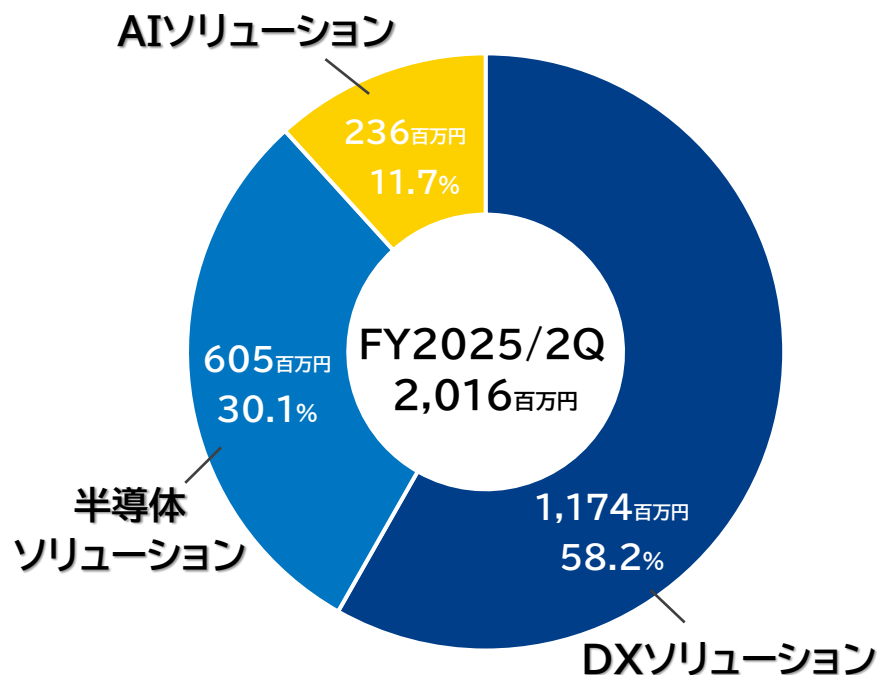
DXソリューションの売上高は**6.2%**と安定成長
(前年同四半期比)

売上高(カテゴリー別) ※1

(単位:百万円)



売上比率(カテゴリー別) ※1



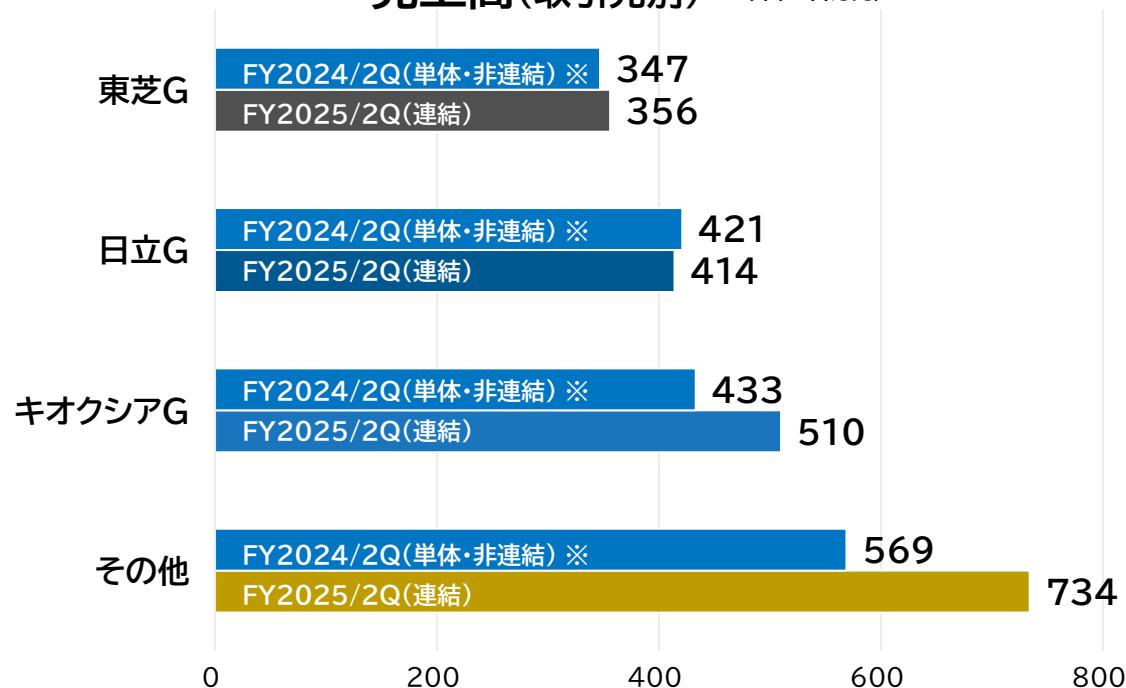
※1 当社グループの事業セグメントは単一セグメントです。
売上高のみカテゴリー別に集計しております。

※2 2024年9月期 第3四半期より連結決算に移行しております。
2024年9月期 第2四半期は非連結の実績を記載しております。

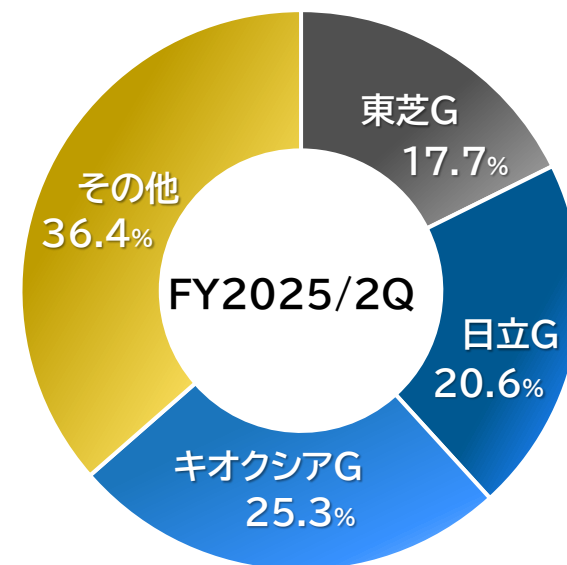
取引先別売上高(FY2025/2Q)

キオクシアGが急回復
東芝G、日立Gは安定して推移
その他取引先が大幅伸長

売上高(取引先別) (単位:百万円)



売上比率(取引先別)



※ 2024年9月期 第3四半期より連結決算に移行しております。
2024年9月期 第2四半期は非連結の実績を記載しております。

エクステージ株式会社(埼玉県久喜市)の子会社化が決定し
第2四半期より当社連結子会社としてグループインしました。



名称	エクステージ株式会社
所在地	埼玉県久喜市上町23番25号
代表者	代表取締役 榎浦 紀光
設立	2008年4月8日
資本金	10,200千円
業務内容	ソフトウェア及びコンピュータシステムの企画、開発、制作、保守管理及びコンサルティング
HP	https://ex-stage.co.jp/

詳細は、1月22日付の適時開示「エクステージ株式会社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ」をご覧ください。

<https://pdf.irpocket.com/C4055/PEbr/Y7Xx/zOn7.pdf>

(テーマ) 何かが始まる

単位:百万円	2024年9月期 通期(連結・実績)	2025年9月期 通期(連結・予想)	2025年9月期 第2四半期(連結・実績)	進捗率(%)
売上高	2,980	4,000	2,016	50.4%
営業利益	519	750	369	49.3%
経常利益	520	750	371	49.5%
純利益	321	492	242	49.3%

T&Sグループ
全体

子会社各社の営業努力により取引先の増加やエンジニアリソースの拡充が進み、当社グループ全体の業績は順調に推移する見通しです。分社化による各社の特徴を活かし、各社事業の拡大を推進します。当社グループの事業に関して、現時点で米国政権が発表した相互関税措置による直接的な影響はありません。

T&S システム開発
事業本部

半導体メーカーをはじめとする主要取引先からの継続案件及び新規案件の引合いは引き続き好調を維持し、業績は堅調に推移する見通しです。システム開発からシステム運用保守業務へ移行する割合が高く、長期にわたる受注体制は今後も維持継続が期待できます。主要取引先からの大規模開発案件を受注する見通しであり、業績への寄与を見込んでいます。

T&S ITサービス
事業本部

主要取引先からの引合いは引き続き増加傾向であり、業績は堅調に推移する見通しです。
当社の主要取引先である半導体メーカーでは、国内での安定供給体制の整備を目的に、最先端の半導体を開発・製造するための施設の増設、生産拠点の拡張が予定されており、半導体工場向けのITサービスは安定的に稼働する見込みです。年間10%増の採用計画に従い新卒採用、中途採用を進め、人材の適正配置により売上、事業拡大を見込みます。

イントフォー

引き続き生成AIサービスやエッジAIソリューションの引合いは好調で、下期も既存顧客・新規顧客ともに案件の受注拡大の見通しです。4月から新会社として経営体制を強化し、外部企業とのビジネス連携を進めながら、成長加速を狙います。

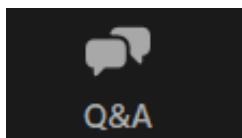
TSシステム
ソリューションズ

既存顧客との取引が増加し、顧客エンゲージメントが強化されています。また、新規顧客の開拓も順調に進んでおり、業績は堅調に推移する見通しです。DXを中心にさらなる成長を目指します。

エクステージ

2025年1月にT&Sグループ傘下となり、第2四半期より連結対象子会社となりました。半導体関連のソフトウェア開発分野でのグループ内連携強化やコラボレーションによる新規取引先の開拓を推進し業績への貢献を目指します。

質疑応答



画面下部のメニューバーにあります「**Q&A**」機能をクリックしてください。

「**会社名**」「**お名前**」「**ご質問内容**」を質問入力欄にご入力し、送信をクリックしてください。

※注意点

お使いのパソコンの設定によっては、改行しようとEnterキーをたたくと、その時点でテキストが送信されてしまいます。

改行せず、ご質問内容が続けてご入力の上、入力が終わりましたら、Enterキーで送信してください。

Q1

イントフォー(株)が先進技術事業本部の事業を承継して分社化するとの発表がありました。AIソリューションカテゴリーに関する動きが活発になってくることが期待されます、今後の見通しについて教えてください。

子会社(イントフォー株式会社)の設立

当社は更なる事業展開を推し進めるべく、
あらたに「イントフォー株式会社」を設立しました。

当社グループ全体の継続的な成長には、
最先端のAI事業の拡大が不可欠であるという認識のもと、
イントフォー株式会社ではAI関連事業を主体とした事業を
推進してまいります。

子会社の概要

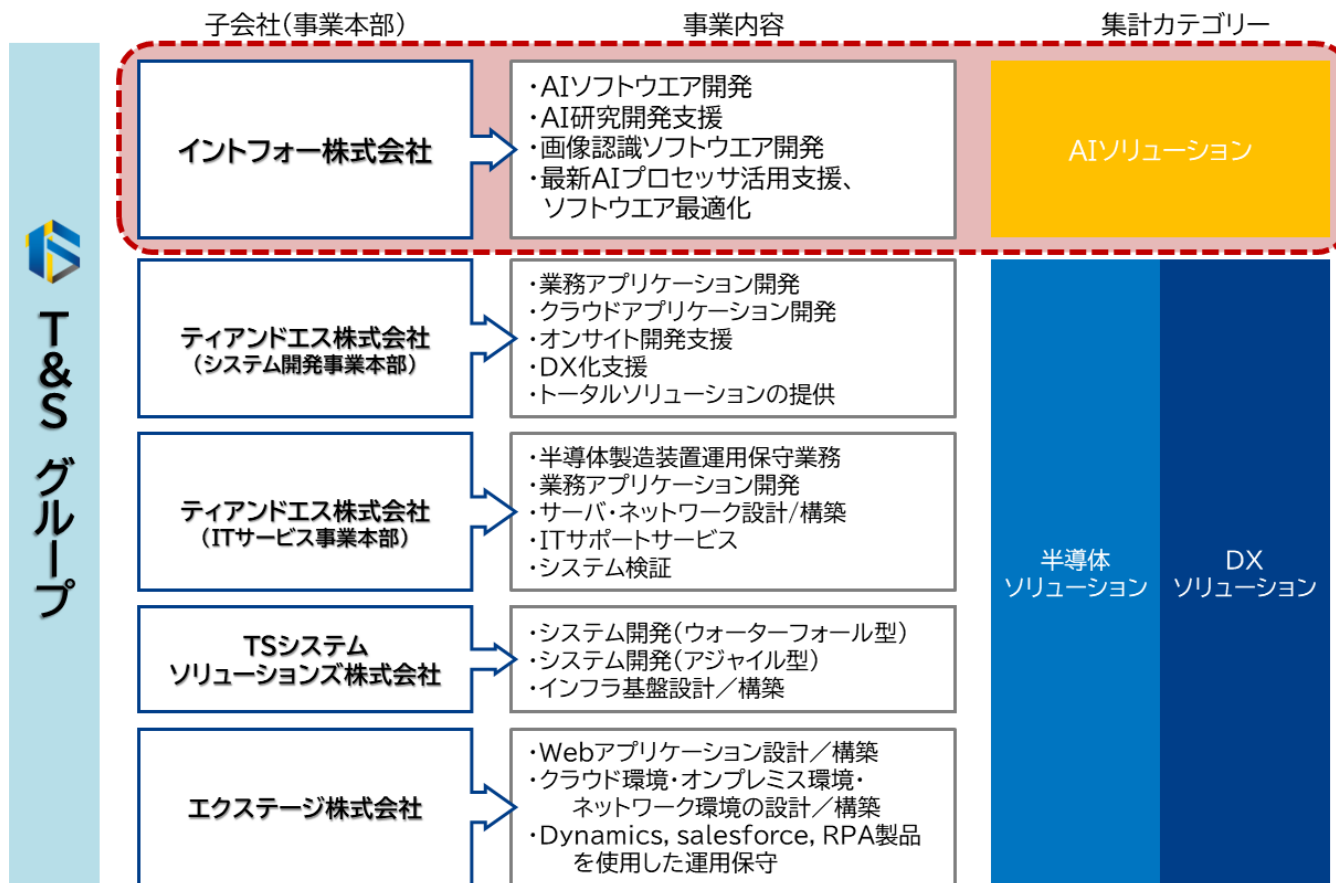
会社名	イントフォー株式会社 (INT IV, Inc.)
所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目6番3号
代表者	代表取締役社長 小林 林広
事業内容	現在、ティアンドエス(株)先進技術事業本部で行っている AI関連事業を移管予定
資本金	10百万円
設立	2024/11/1

詳細は、10月30日付の適時開示「子会社設立に関するお知らせ」をご覧ください。

<https://pdf.irpocket.com/C4055/n85z/S1s7/QU40.pdf>

トピック②： イントフォー株式会社が事業をスタート

**イントフォー株式会社 は、AI事業を承継し、
2025年4月1日 より本格的に事業を開始しました。**



**イントフォー株式会社はAIソフトウェア開発関連事業を推進し
当社グループの躍進的な成長に貢献して参ります。**

トピック①：株式会社カイとの業務提携

当社は、AIソリューションビジネスの拡大を目指し
株式会社カイと業務提携契約を締結しました。



詳細は、2月17日付のプレスリリース「株式会社カイとの業務提携によるAIソリューションビジネスの拡大」をご覧ください。

<https://pdf.irpocket.com/C4055/usA8/J8nu/Pk5j.pdf>

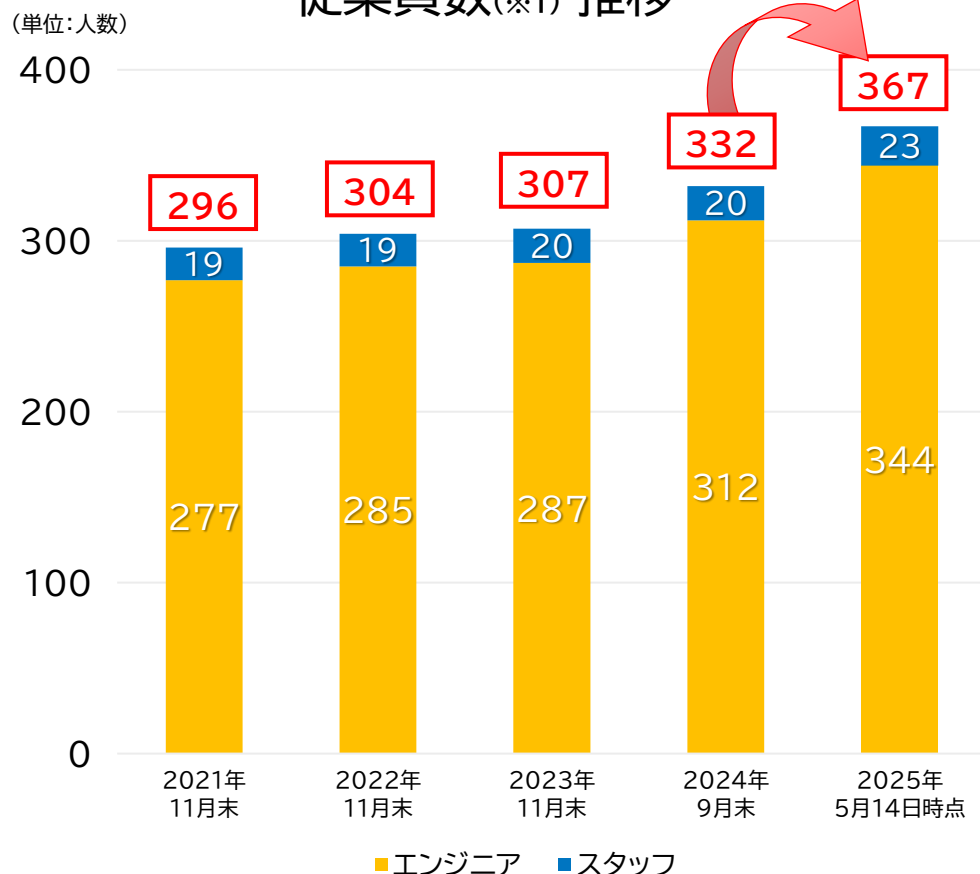
Q2

今期末の従業員数目標がかなり高めの設定だったようですが、現時点までのエンジニアの採用状況について教えてください。

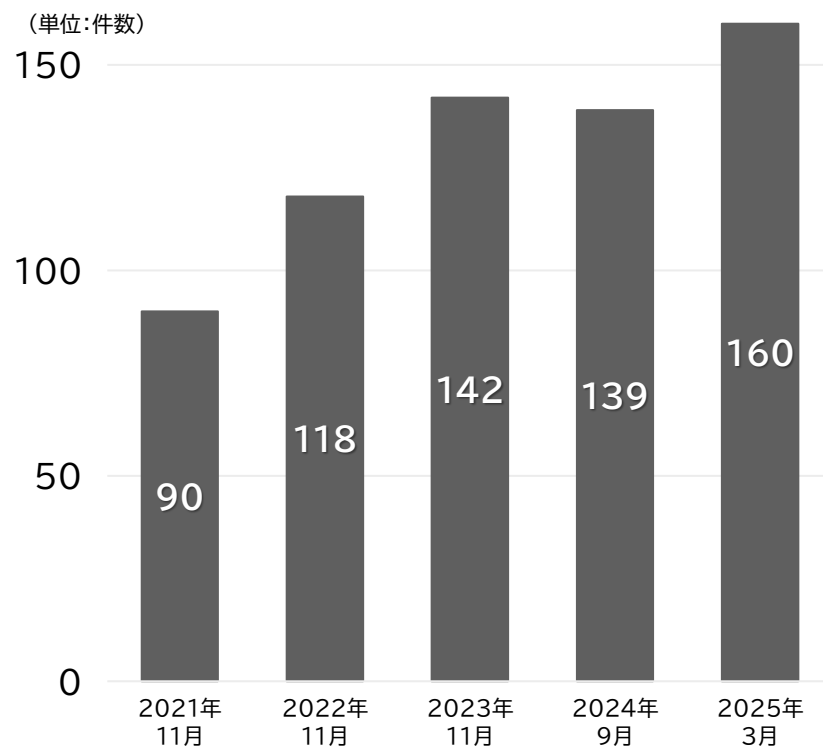
今期目標(377名)達成に向け推進中

子会社間の連携強化によりエンジニアリソースの確保に努める

従業員数(※1) 推移



BP(※2)発注件数 推移



※1 ティアンドエスグループ全体

※2 BP…ビジネスパートナー 業務委託等の形態で当社業務に従事するエンジニア

お問い合わせ先

ティアンドエスグループ株式会社

経営企画IR部

Email / pr@tecsvc.co.jp

URL / <https://www.tecsvc.co.jp/>

本資料に掲載されている情報には、将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現や将来の業績を保証するものではありません。経済状況の変化や一般的な業界ならびに顧客ニーズの変化、法規制の変更等、様々な要因によって当該予想と大きく異なる可能性があります。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。